



—東地中海地域ニュース—

イスラエル・パレスチナ：無認可入植地拠点の一部建造物取り壊し

(15日付イスラエル各紙)

15日付イスラエル各紙電子版は、同日未明にイスラエル国防軍および警察が西岸地区内の無認可入植地拠点の一部建造物を取り壊したについて報じている。

1. 15日未明、イスラエル国防軍およびイスラエル警察は、西岸地区内の無認可入植地拠点 ミツペイ・イツハル（注；ナブルス付近）の違法建造物2軒を取り壊した。事前に国防軍と警察が周辺地域を軍事閉鎖地域として嚴重に取り締まっており、この破壊に際して、入植者による妨害や、治安部隊と入植者との衝突はなかった。
2. この取り壊しの後、周辺のパレスチナ村落のモスクが放火されたと伝えられており、同措置に関する入植者の「プライス・タグ」行為との関連性を確認している。
3. ミツペイ・イツハルの住民は、破壊された建造物に代わり、新たな建造物を造るために、寄付を募ると述べた。
4. オッペンハイマー・ピースナウ事務局長は、今次の取り壊しは（注；政府が無認可入植地拠点を真剣に行っていると主張するための）見せかけの行為にすぎない、と述べた。

◎本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799